

「長門市世界大会等キャンプ招致基本計画」を策定

ラグビーワールドカップ2019 キャンプ招致を実現しよう

平成31（2019）年に開催されるラグビーワールドカップ日本大会における長門市へのキャンプ招致活動は、平成23年、「おいでませ！山口国体」の開催を契機に培われた地域連携の深まりと、郷土の誇りを推進力として始まりました。

この計画は、市民が一体となり、スクラムを組んでキャンプ招致を成功させるために必要な事項を具体化したものです。

基本計画の目的

本市では、俵山地区の美しい農山村や古い町並みの景観を保全しつつ、温泉やスポーツ施設等の地域資源を有効に活用したツーリズムを推進しています。交流人口の拡大を図るため国際的スポーツイベント（ラグビーワールドカップ2019および東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「世界大会等」という）のキャ

ンプ招致などを基盤とする「スポーツによるまちづくり」について調査・研究を行い、俵山多目的交流広場（俵山スパスタジアム）を中心とする交流施設の計画的な整備やキャンプ実施時に必要となる運営体制等の確立を推進するため、この基本計画を策定しました。

計画の実施期間

平成27年度（2015年度）
～32年度（2020年度）

基本理念（ビジョン）

本市の世界大会等キャンプ招致活動は、「THE NEXT GENERATION」未来への継承」を基本理念とし、活動がキャンプの招致実現だけでなく、子どもたちの将来へ、本市の未来の都市整備につながるよう計画し、取り組むものとします。（GENERATION II世代）

基本方針（ミッション）

キャンプ招致に関わる業務は多岐に渡り、産官学・異業種で組織する「ラグビーワールドカップ2019長門市招致委員会」を中心とし、市民一人ひとりの力を結集した取組が重要です。招致に関わるすべての人々がラグ

ビーの基本精神「ONE FOR ALL、ALL FOR ONE」（一人はみんなのために、みんなは一人のために）にのっとり取組を強めるため、次の4つの基本方針を基に事業を推進します。

ミッション1
For The People

（誰もが取り組むことができる取組を推進する）

ミッション2
For The Dream

（子どもたちが夢を持てる取組を推進する）

ミッション3
For The Community

（地域経済の発展につながる取組を推進する）

ミッション4
For The World

（交流を育む取組を推進する）

俵山多目的広場の再整備方針

施設再整備にあたっては、選手が持つ力を最大限に発揮できることに加え、通路のバリアフリー化などユニバーサルデザインにも配慮し、地域住

民にも永く活用されるよう会場をデザインすることとし、次の5つの方針に基づき実施します。

レガシーアクションプラン

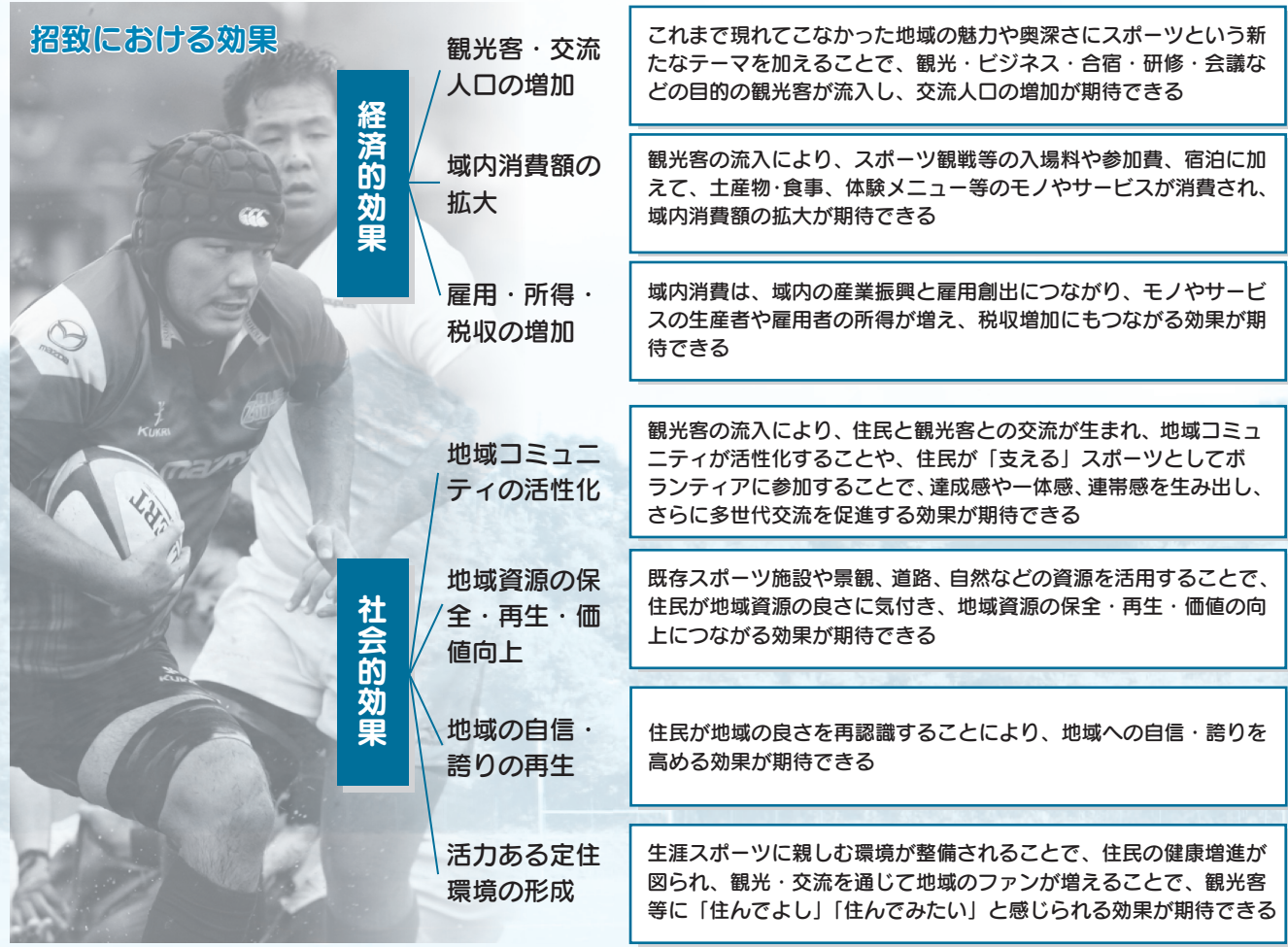
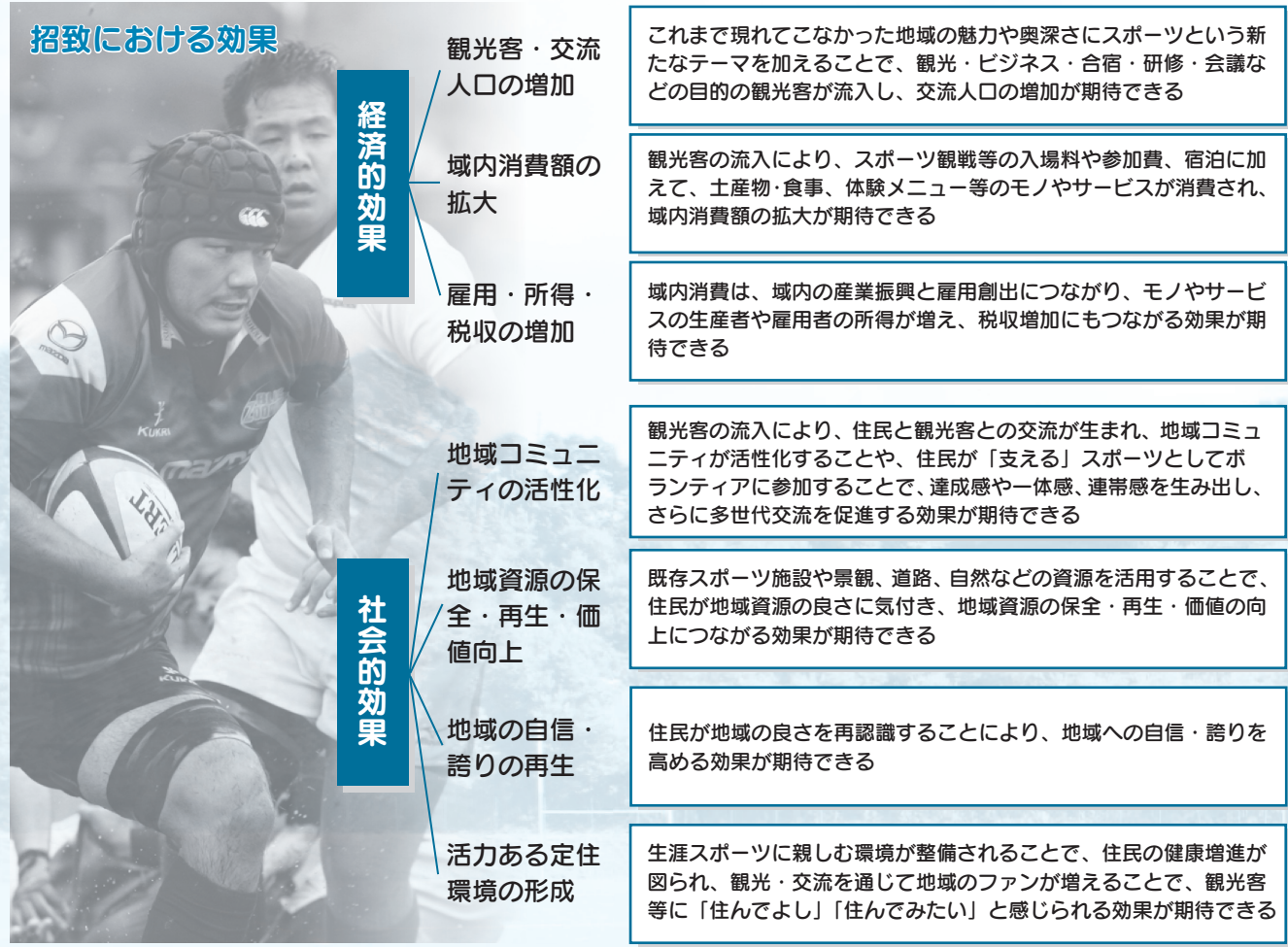
世界大会等のキャンプ招致活動は、世界最大級のスポーツの祭典に関わることで、スポーツをはじめ、都市整備、経済、文化、教育などの幅広い分野で持続的に地域に良い効果をもたらすことが期待されています。こうした効果は「レガシー」と呼ばれ、キャンプ招致という明確な目標を設定することで、実現のハードルが高い課題の解決やイノベーションを一気に加速する好機となると考えられています。

本市でも、キャンプ招致活動による波及効果や課題等を洗い出し、『レガシーアクションプラン』としてまとめ、招致活動の良い効果が本市の未来へ永く継承されるように取り組みます。

●本市におけるレガシーの例
・長門・俵山道路の早期着工・完了（平成31（2019）年完成予定）

■問い合わせ 企画政策課
世界大会等キャンプ招致室

TEL 23・1196



招致における効果